

今日は、地震の直後、火災が発生した想定での避難訓練を行いました。

避難訓練を行う意味は、言うまでもなく、地震や火事といった災害から自分たちの身を守ることです。

災害が起きてから「どうしたらいいのか」を考えているようでは、ダメです。

実際に避難訓練をしてみて、皆さん自身は、素早く行動できましたか。

移動するときに、非常階段を出たあたりで、大きな声を出しながら避難していた人がたくさんいました。

そのような状況では、今回の避難訓練を良い評価をすることはできません。訓練だからこそ、色々なことを意識しながら行動してもらいたかったです。しかし、失敗から、しっかりと学びんで下さい。

今日は、2階職員室が火元と想定して避難訓練をしたわけですが、火元から離れた場所では、煙の温度は下がり、煙は天井よりも低い位置に広がり、降りてきます。煙には、一酸化炭素などの有害な気体が含まれていて、吸い込む恐れもあるので、直接煙を吸い込まないように、(マスクを付けて)静かに移動すべきでした。

ある日、突然やってくるかもしれない災害に、どのように対処するかは、その時々状況に応じて想像力を働かし、避難することが大切です。その意味でも、本日の訓練から改めて学んで下さい。

さて、私からは、講評として3つのこととお話しします。

1点目は、想定外を想定するという事です。近年では、自然災害が非常に多くなっています。

バケツの水をひっくり返したような雨、豪雨による土砂災害、時季外れの台風等、これまで想定されなかったことが色々発生しています。そのように、自然災害が、身近に発生している今だからこそ、想定外(のハプニングが起こりえること)を想定して行動し、危険から自分たちの身を守って下さい。

2点目は、他人事ではなく、自分事と考えることです。毎日ニュースを読んでいると、必ずどこかで火事や事故の記事を見かけます。これだけ頻繁に報道されているということは、いつ私たち自身が関係者になってもおかしくないということです。自分自身を、そして仲間を守るって気持ちを持って、行動して下さい。

3点目は、危機回避のためには、迅速に対応することが必要です。

煙は出火近くでは温度が高く天井を這う、離れた場所では温度が下がり煙も降りてくる。

出火先から遠いほど、視界が悪くなり、また、煙に囲まれる危険性があるということ。

今避難している状況を冷静に分析し、どう行動するのが良いのか迅速に判断・行動して下さい。

火災の際には、火の流れや煙の動き等、その特性を知り、それらの知識から、今の状況を判断し、

危険を回避のために、何を優先するのか、自分自身の身を、そして友人も守れるよう行動して下さい。

これで、避難訓練の講評を終わります。